

広島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	経営学概論
科目基礎情報						
科目番号	0027		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	流通情報工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	会計学基礎論（神戸大学会計学研究室）					
担当教員	田上 敦士					
到達目標						
"（１）財務諸表が読めるようになること （２）財務諸表から様々な分析を通じて自ら企業の状態を判断できるようになること"						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		企業の収益性、安全性を測ることができる	財務諸表が読める	財務諸表が読めない		
評価項目2		企業間の比較、趨勢分析ができる	企業の特徴を掴むことができる	企業間の比較ができない		
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要		会計学の全分野にわたって、初歩的な事項を修得することを目標とする。企業が公表する財務諸表は、どうやって作成されるのか。企業の利害関係者はそれをどのように利用しているのか。財務諸表が写し取っている企業活動はどんなものか。そのような基本的な内容を理解することを目指す。				
授業の進め方・方法		電卓必要、自分で問題や課題を解くこと。講義を聞くことで終わらせず常に予習復習（レポート課題含む）すること。就職活動の一環として社会情勢を見据えて臨むこと。				
注意点		授業中許可無く他のことをすれば容赦なく減点する。				
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	複式簿記のしくみ	複式簿記の復習、試算表、精算表の作成ができる 3級の検定問題を解ける		
		2週				
		3週				
		4週	簿記と会計	簿記システムが会計学に必要な不可欠であることを理解する 経済活動と会計学との関係を理解する		
		5週				
		6週				
		7週				
		8週	財務諸表	財務諸表を理解できる 収益性や安全性など簡単な指標での企業分析ができるようになる 就職活動において企業分析の重要性を理解する		
	2ndQ	9週				

後期	3rdQ	10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
	3rdQ	1週	勘定科目の特徴	簿記における各勘定科目が会計上どのような特徴を持つのか理解する 会計上のテクニックがもたらす利益や損失について理解する			
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
	4thQ	8週	原価計算	工業簿記の基本を理解する 原価計算の基本問題を解くことができる 損益分岐点計算ができる			
		9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	10	50
専門的能力	40	0	0	0	0	10	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0